

# 工事を順調に進捗する為の、声掛け・回覧・施工短縮

地区名：静岡県土木施工管理技士会 浜松地区

会社名：株式会社 鈴木組

主任技術者 堺 喜治（技術者番号 00095285）

## 1、工事内容

工 事 名 平成 30 年度 道路維持修繕国県道単独事業（一）磐田細江線舗装修繕工事

工 事 場 所 静岡県浜松市東区小池町地内

工 期 平成 30 年 9 月 26 日 ～ 平成 31 年 1 月 18 日

発 注 者 浜松市長 鈴木康友（東・浜北土木整備事務所 東グループ）

主工事内容 施工延長 L=250.0m

表層・密粒（20）改質 I 型 B 配合 t 5 cm 2,030.0m<sup>2</sup>

基層・再生粗粒度アスコン（20）B 配合 t 5 cm 1,990.0m<sup>2</sup>

路盤・瀝青安定処理 t 14 cm 1,990.0m<sup>2</sup>

（基層・路盤を大粒径 t=16 cmにて施工承諾）

## 2、工事概要

本工事の県道磐田細江線は、磐田市中泉から、浜松市北区細江町気賀までの総延長 23.2km の区間である。今回発注の浜松市東区小池町地内は、付近にはイオンモール市野など大型店舗が点在する地域であり、遠州鉄道遠鉄自動車学校前駅にも近い。このため通行車両が多く、線状ひび割れ、亀甲ひび割れがともに確認できる箇所であり、わだち掘れも若干みられ、路床・路盤の支持力不足、アスファルト混合物の劣化・老化が要因であり、繰り返しいし走行と複合し、現在の路面状況となった。そのため舗装修繕工事が計画された。掘削後の段差は 24 cm となり、今回施工箇所は 90 度程度のカーブもあり、通行車両にとっては危険個所の一つであった。舗装構成は、加熱瀝青安定処理 2 層を含めて表層まで 4 回舗設しなければならない。



### 3、問題点

受注後、すぐに現地調査・確認を実施した際の感想として、まず『枝道が多い』『通行車両が以外と多い』と感じた。その中で第三者と円滑に工事を進めないと順調に施工が出来ないと思い、下記4項目の問題点を中心に検討した。

問題①：枝道の住民・商店・工場等へ、いかに磐田細江線において舗装工事のため通行止めとなっているかと言うことを周知するにはどうしたらよいか。

問題②：通行車両、通過車両をいかに他の道へ迂回できるように周知したらよいか。

問題③：掘削した際、24 cmの段差となり沿線住民、商店等の出入りが不可能であり、どのように対策したらよいか。

問題④：250m間を14日間片側交互通行にて施工(150m<sup>2</sup>「40m」/日)するため、施工期間を少しでも短縮し工事を円滑に進めるには、どのような対策をしたらよいか。

### 4、解決策の検討

解決策①：枝道から磐田細江線への出入りについては、枝道路毎に、日々の通行止め状況を住民・商店・工場等へ、工程を入れた回覧にて周知する。降雨等による延期の場合は再度回覧にて周知する。

北側住民用

西側住民用

南側住民用

地域の皆様へ  
平成30年11月

（一）磐田細江線 舗装工事による片側交互通行  
及び、取付公道通行止めのお知らせ

同報紙でも取りました通り、下記の通り舗装工事の日程が決定しましたのでお知らせいたします。取上げはご迷惑をおかけしますが、ご協力をお願いいたします。

建設事務所 沼津市東区小池町東成（下園駅前）


工事期間 平成30年11月26日～平成30年12月14日（内通行止めは4日間）  
（雨天等による影響で延長の場合があります）

規制時間 午前8：30～午後5：00  
（工事の進捗により超過する場合があります）

規制内容 取付公道：片側交互通行止め、又は掘削後片側交互通行により通行止めとなる場合があります。取付公道：掘削による出入り困難となる場合があります。

工事名称 平成30年度 道路維持管理費普通年度事業  
（一）磐田細江線舗装工事

施工業者 株式会社 鈴木興 電話 053-442-2115  
担当 藤 啓治



地域の皆様へ  
平成30年11月

（二）磐田細江線 舗装工事による片側交互通行  
及び、取付公道通行止めのお知らせ

同報紙でも取りました通り、下記の通り舗装工事の日程が決定しましたのでお知らせいたします。取上げはご迷惑をおかけしますが、ご協力をお願いいたします。

建設事務所 沼津市東区小池町東成（下園駅前）


工事期間 平成30年11月26日～平成30年12月14日（内通行止めは4日間）  
（雨天等による影響で延長の場合があります）

規制時間 午前8：30～午後5：00  
（工事の進捗により超過する場合があります）

規制内容 取付公道：片側交互通行止め、又は掘削後片側交互通行により通行止めとなる場合があります。取付公道：掘削による出入り困難となる場合があります。

工事名称 平成30年度 道路維持管理費普通年度事業  
（二）磐田細江線舗装工事

施工業者 株式会社 鈴木興 電話 053-442-2115  
担当 藤 啓治



地域の皆様へ  
平成30年11月

（三）磐田細江線 舗装工事による片側交互通行  
及び、取付公道通行止めのお知らせ

同報紙でも取りました通り、下記の通り舗装工事の日程が決定しましたのでお知らせいたします。取上げはご迷惑をおかけしますが、ご協力をお願いいたします。

建設事務所 沼津市東区小池町東成（下園駅前）


工事期間 平成30年11月26日～平成30年12月14日（内通行止めは4日間）  
（雨天等による影響で延長の場合があります）

規制時間 午前8：30～午後5：00  
（工事の進捗により超過する場合があります）

規制内容 取付公道：片側交互通行止め、又は掘削後片側交互通行により通行止めとなる場合があります。取付公道：掘削による出入り困難となる場合があります。

工事名称 平成30年度 道路維持管理費普通年度事業  
（三）磐田細江線舗装工事

施工業者 株式会社 鈴木興 電話 053-442-2115  
担当 藤 啓治



解決策②：工事開始前に分かりやすい工事予告看板等を設置して通行車両に工事開始時期、時間を周知することにより迂回して頂き工事における交通渋滞を緩和する。



解決策③：商店の出入りが不可能な場合は迂回が判りやすくなるよう商店を明示した看板を設置して、交通事故防止、並びに商店お客様が出入りしやすいよう工夫する。

自治会回覧は当然であるが、沿線住民・商店・工場等にあった回覧を行う。

近隣駐車場を借地し工事中に、出入りできない沿線住民の車両は借地した近隣駐車場へ一時仮置きして頂く。



## 沿線住民

地域の皆様へ  
平成30年11月

(一) 磐田湖江線 舗装工事による片側交互通行  
及び、取付市道通行止めのお知らせ

10月に計画した舗装工事について自然が回復しましたのでお知らせします。取付市道は工事完了となりますが、工務局の都合により、片側交互通行となります。

施工箇所 磐田市東区中池田町内（磐田湖江線）

工事期間 平成30年11月21日～平成30年12月14日（下の工事予定表参照）  
（雨天等による影響で延長の場合があります）

規制時間 午前8：30～午後5：00  
（工事の進捗により超過する場合があります）

規制内容 取付市道（湖江線）片側交互通行  
取付市道：片側通行止め、取付道の未着陸部分の市道は、施工中止通行止めです。

工事名称 平成30年度 道路維持管理費道路修繕工事

施工業者 株式会社 鈴木組 電話 053-442-2115  
机内 担当 090-8152-1074

曜日	11/21	11/22	11/23	11/24	11/25	11/26	11/27	11/28	11/29	11/30	12/1
施工日	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
休日	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○

区間	12/2	12/3	12/4	12/5	12/6	12/7
施工日	○	○	○	○	○	○
休日	○	○	○	○	○	○

区間	12/9	12/10	12/11	12/12	12/13	12/14
施工日	○	○	○	○	○	○
休日	○	○	○	○	○	○

## 沿線住民（日程変更時）

地域の皆様へ  
平成30年12月

**中止による施工日変更のお知らせ**  
(一) 磐田湖江線 舗装工事による片側交互通行  
及び、取付市道通行止めのお知らせ

施工箇所 同上  
施工期間 **平成30年12月4日 降雨により中止**  
**5cm表層仕上げ(1)は12月5日施工予定**  
（降雨等による影響で延長の場合があります）

規制時間 午前8：30～午後5：00  
（工事の進捗により超過する場合があります）

規制内容 取付市道（湖江線）片側交互通行  
取付市道：片側通行止め、取付道の未着陸部分の市道は、施工中止通行止め

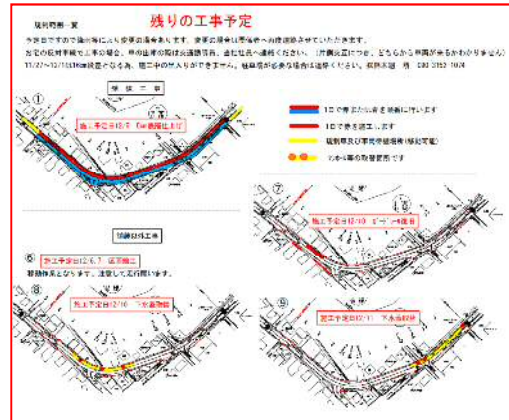
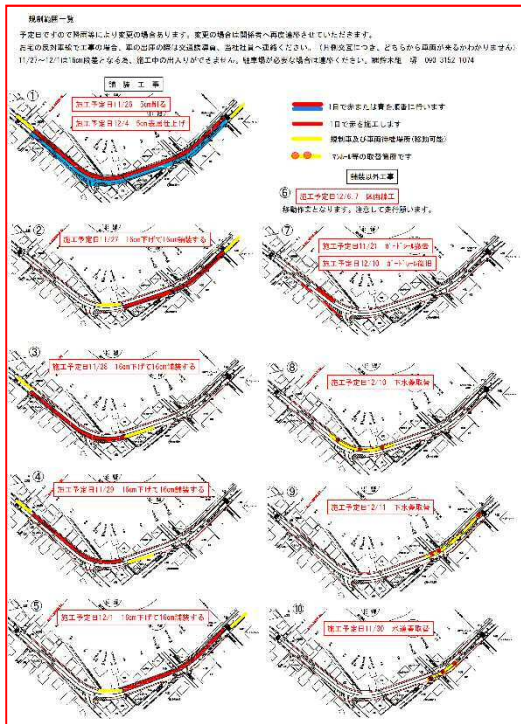
工事名称 平成30年度 道路維持管理費道路修繕工事

施工業者 株式会社 鈴木組 電話 053-442-2115  
机内 担当 090-8152-1074

区間	12/2	12/3	12/4	12/5	12/6	12/7	12/8	12/9	12/10	12/11	12/12
施工日	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
休日	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○

区間	12/9	12/10	12/11	12/12	12/13	12/14
施工日	○	○	○	○	○	○
休日	○	○	○	○	○	○

区間	12/16	12/17	12/18	12/19	12/20	12/21
施工日	○	○	○	○	○	○
休日	○	○	○	○	○	○



解決策④：日々の施工手順として、設計通りの施工は舗装版取壊し撤去処分→路盤掘削処分→不陸整正→路床完了時段階確認→路盤・瀝青安定処理7cm（1層目）→路盤・瀝青安定処理7cm（2層目）→基層・再生粗粒度アスコ（20）B配合t5cm→擦付け舗装、仮区画線で片側40mが完了となり、これでは、表層・密粒（20）改質I型B配合t5cmも含めて15日間片側交互通行となり、走行車両、沿線住民に対して円滑に進めることが出来ないと判断した。そこで発注者へ基層・路盤を大粒径t=16cm（QRP工法）にて施工するよう提案し承諾して頂いた。QRP工法は、16cmを一度に舗設できTAも1.0換算となり解放温度も70度以下にて解放できる。又、中温化剤添加により初期温度を下げる事が出来る。この提案により切削機に

よる舗装版取壊し、路盤掘削処分→不陸整正→路床完了時段階確認→大粒径 t=16 cm (QR P工法) 1層→基層・再生粗粒度アスコン (20) B 配合 t 5 cm→擦付け舗装、仮区画線で片側 500 m<sup>2</sup>「125m」/日完了となり、表層・密粒 (20) 改質 I 型 B 配合 t 5 cm も含めて 5 日間の片側交互通行で完成し規制日数 10 日の圧縮ができたことにより、工事も地元住民・走行車両からの苦情もなくスムーズに施工することができた。

## 5、終わりに

舗装修繕工事ということで、沿線住民（枝道住民・商店・工場・マンション等）の方へは、その都度の回覧に、時間を多く費やした。枝道の住民・商店・マンションには平均 3 回程度、沿線住民には、平均 5 回程度、沿線商店には、平均 10 回程度声掛け、回覧を繰り返し実施した。その中には、前日の施工前範囲の住民訪問、当日朝の施工決定訪問も含まれる。何度も顔を出したことにより、本工事における地元住民からの苦情は 0 であった。また、5 日間の片側交互通行で完成し、規制日数 10 日の圧縮ができたことにより、通行車両並びに地元住民から施工期間における苦情も 0 であった。施工日程については、雨天順延を除き順調に計画通り施工できた。今回施工協力して頂いた沿線住民（枝道住民・商店・マンション）の方々には深く感謝し、今後も声掛け、回覧を繰り返し実施し、沿線住民、通行車両の方々に喜ばれる構築物を築いていきたいと思いをします。